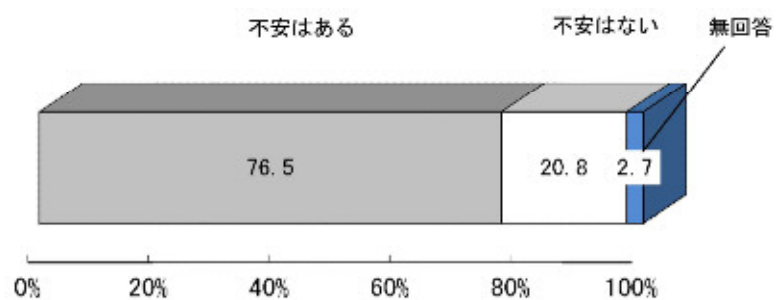


## 5. 住宅等の防火規制に対する意識について

問 27. あなたのお住まいにおいて、火災や延焼に対する不安はありますか？  
(○は1つだけ)

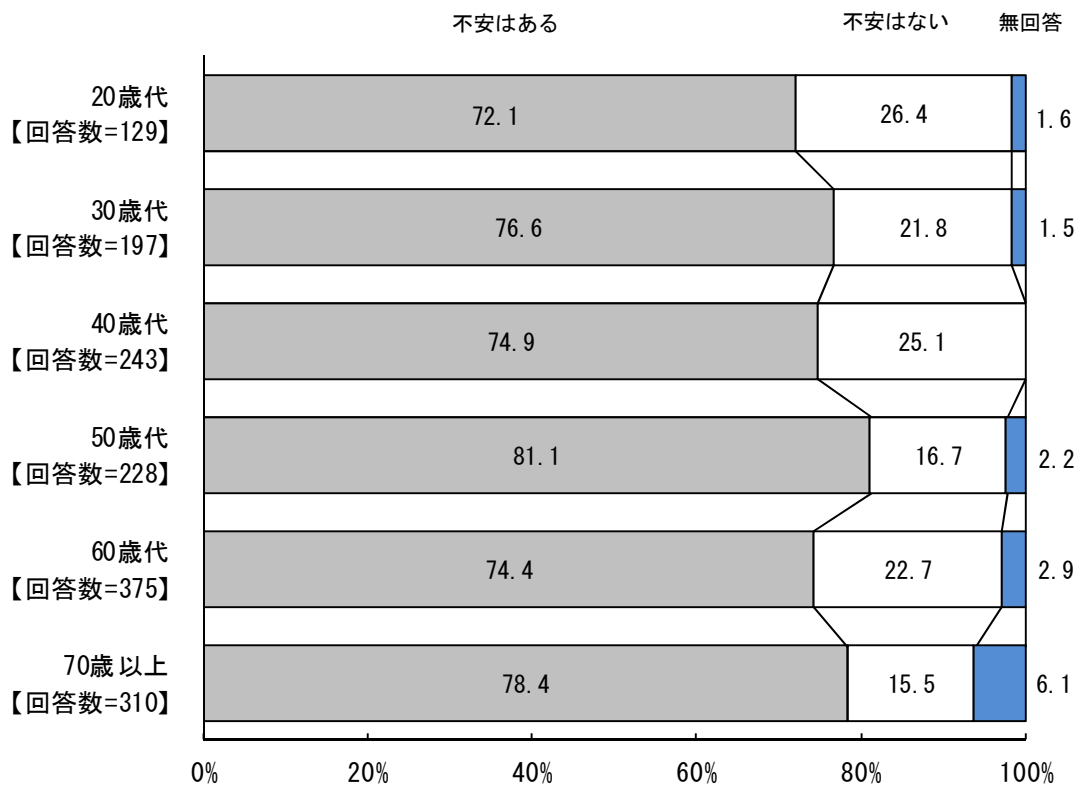
図 5-1 自宅の火災や延焼に対する不安の有無



【回答数=1,487】

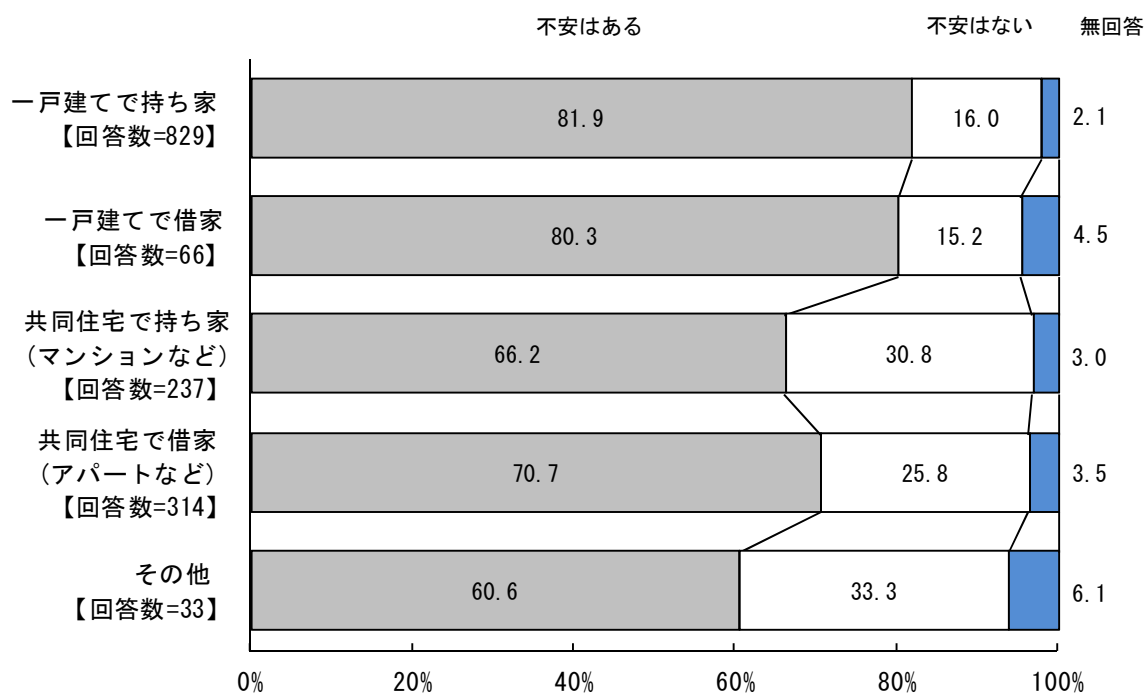
自宅の火災や延焼に対する不安の有無をたずねた。「不安はある」が 76.5%、「不安はない」は 20.8%となっており、前者は後者の約 3.7 倍となっている。(図 5-1)

図 5-2 年代別 自宅の火災や延焼に対する不安の有無



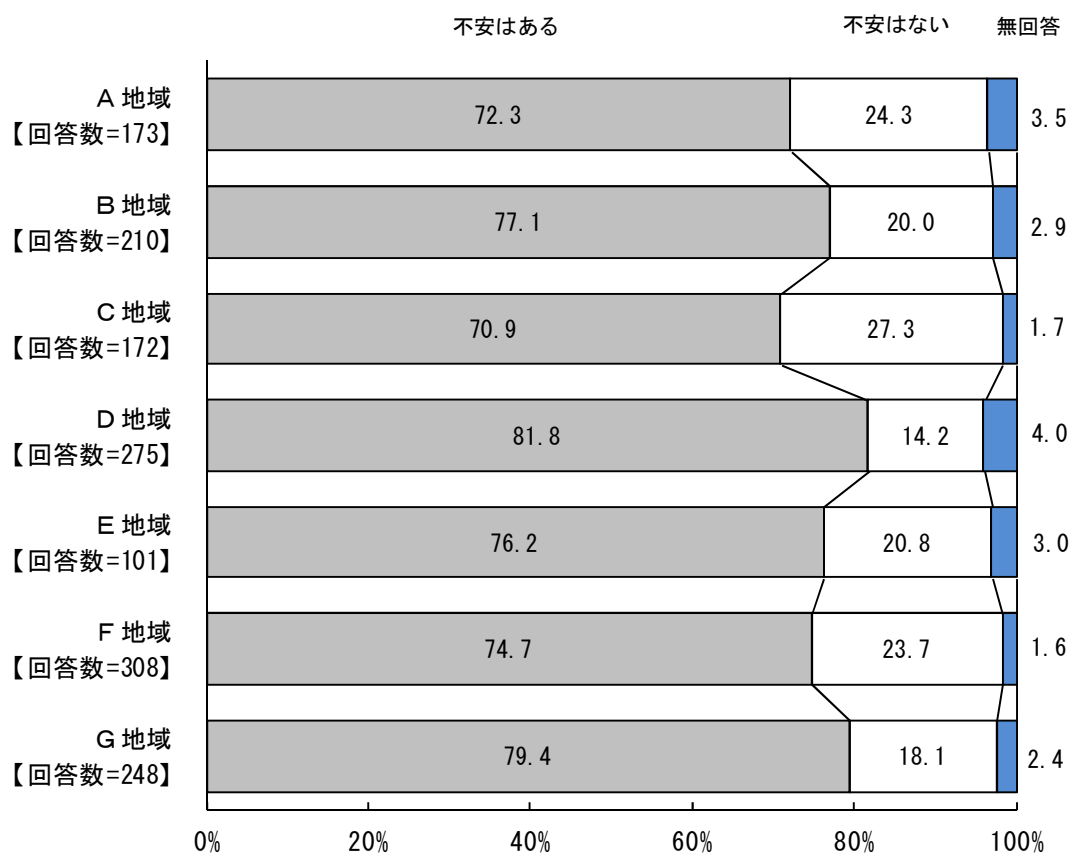
年代別にみると、各年代ともに「不安はある」がいずれも 70%を超えているが、なかでも『50 歳代』で 81.1%と他の年代に比べ最も高くなっている。一方、『20 歳代』では「不安はない」が 26.4%と最も高くなっている。(図 5-2)

図 5-3 住宅状況別 自宅の火災や延焼に対する不安の有無



住宅状況別にみると、『一戸建てで持ち家』で「不安はある」が81.9%と他の住宅状況に比べ最も高く、次いで『一戸建てで借家』で80.3%、『共同住宅で借家(アパートなど)』で70.7%と続いている。一方、『共同住宅で持ち家(マンションなど)』『共同住宅で借家(アパートなど)』では「不安はない」が30.8%、25.8%となっており、いずれも2割半を超えている。(図 5-3)

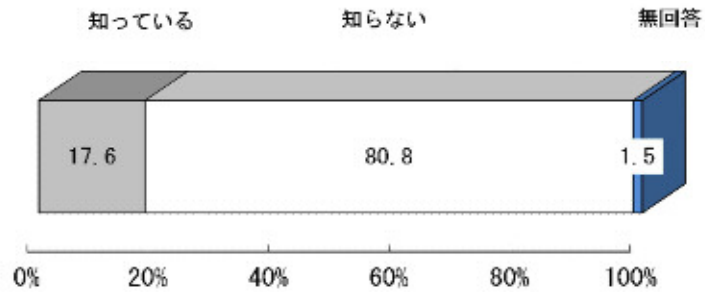
図 5-4 地域別 自宅の火災や延焼に対する不安の有無



地域別にみると、『D地域』で「不安はある」が81.8%と最も高くなっている。一方、『C地域』では「不安はない」が27.3%と最も高くなっている。(図 5-4)

問 28. お住まいの地域によって、住宅等に求められる防火性能に違いがあるのはご存知ですか？（〇は1つだけ）

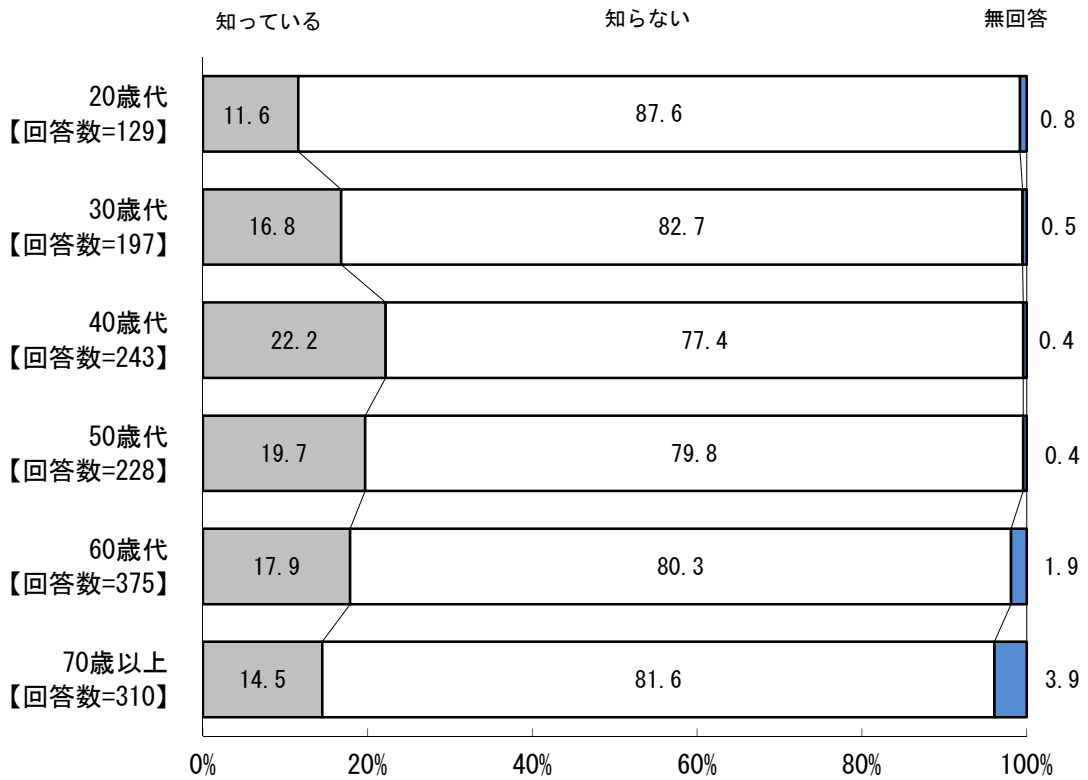
図 5-5 防火規制の地域による違いの認知度



【回答数=1,487】

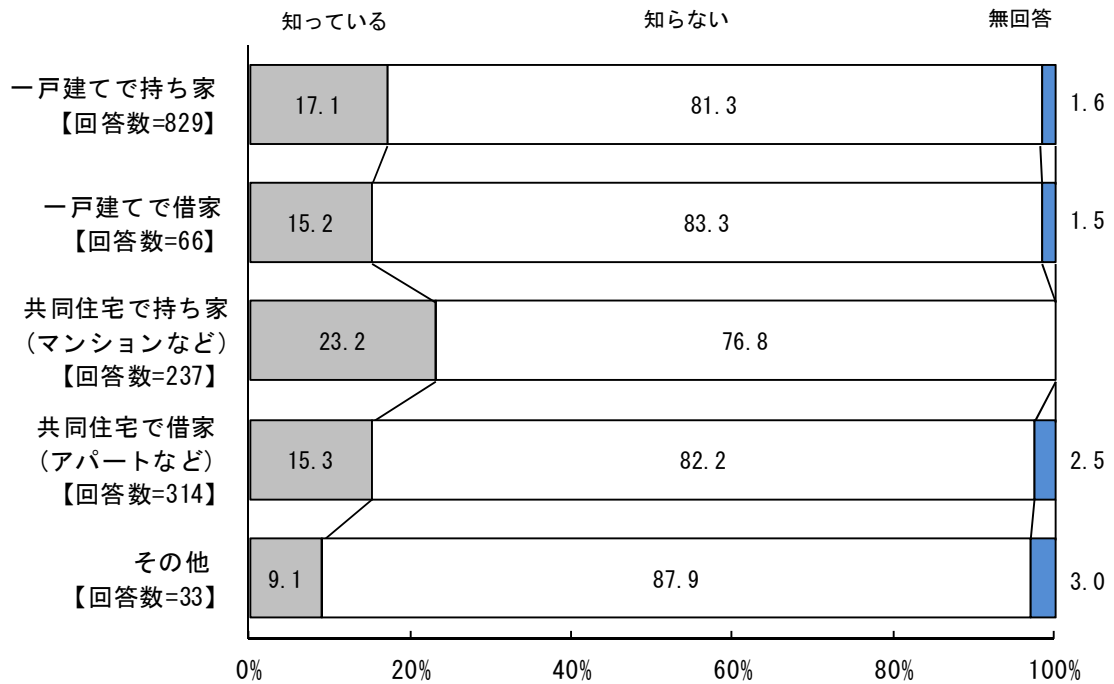
防火規制の地域による違いの認知をたずねた。「知らない」が80.8%、「知っている」が17.6%で、前者は後者の約4.6倍となっている。（図5-5）

図 5-6 年代別 防火規制の地域による違いの認知度



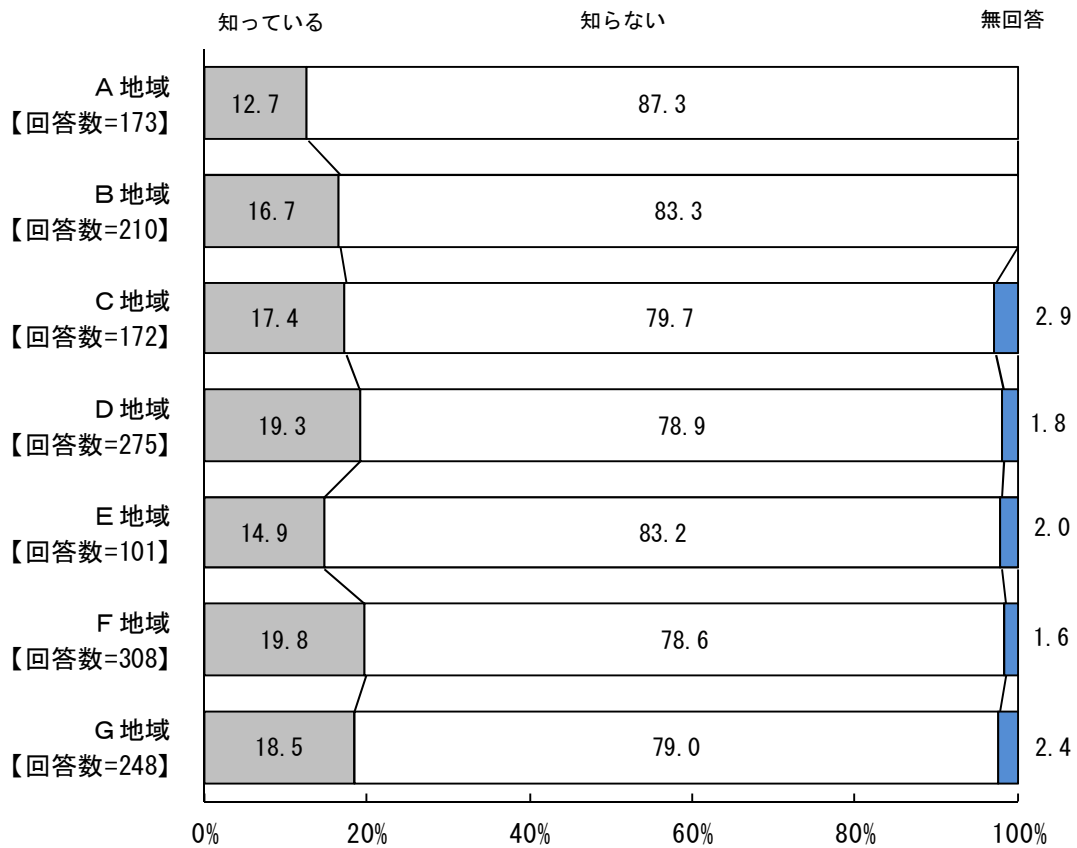
年代別にみると、『40歳代』で「知っている」が22.2%と全体（17.6%）に比べ4.6ポイント上回っている。一方、『20歳代』では「知らない」が87.6%と全体（80.8%）に比べ6.8ポイント上回っている。（図5-6）

図 5-7 住宅状況別 防火規制の地域による違いの認知度



住宅状況別にみると、『共同住宅で持ち家(マンションなど)』で「知っている」が23.2%と他の住宅状況別に比べ最も高くなっている。また、『共同住宅で持ち家(マンションなど)』を除き「知らない」がいずれも8割強を超えている。(図 5-7)

図 5-8 地域別 防火規制の地域による違いの認知度

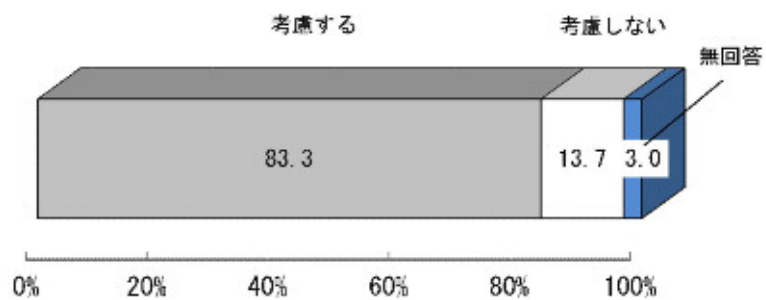


地域別にみると、『A地域』『B地域』『E地域』で「知らない」が8割強を超えており、なかでも『A地域』は87.3%と最も高くなっている。一方、『F地域』では「知っている」が19.8%と最も高く全体(17.6%)に比べ2.2ポイント上回っている。(図5-8)



問 29. 大規模災害の危険性が高まる中、今後、仮にお住まいを決める際にその地域が災害や火災に強い地域であるかどうかを考慮しますか？  
(〇は1つだけ)

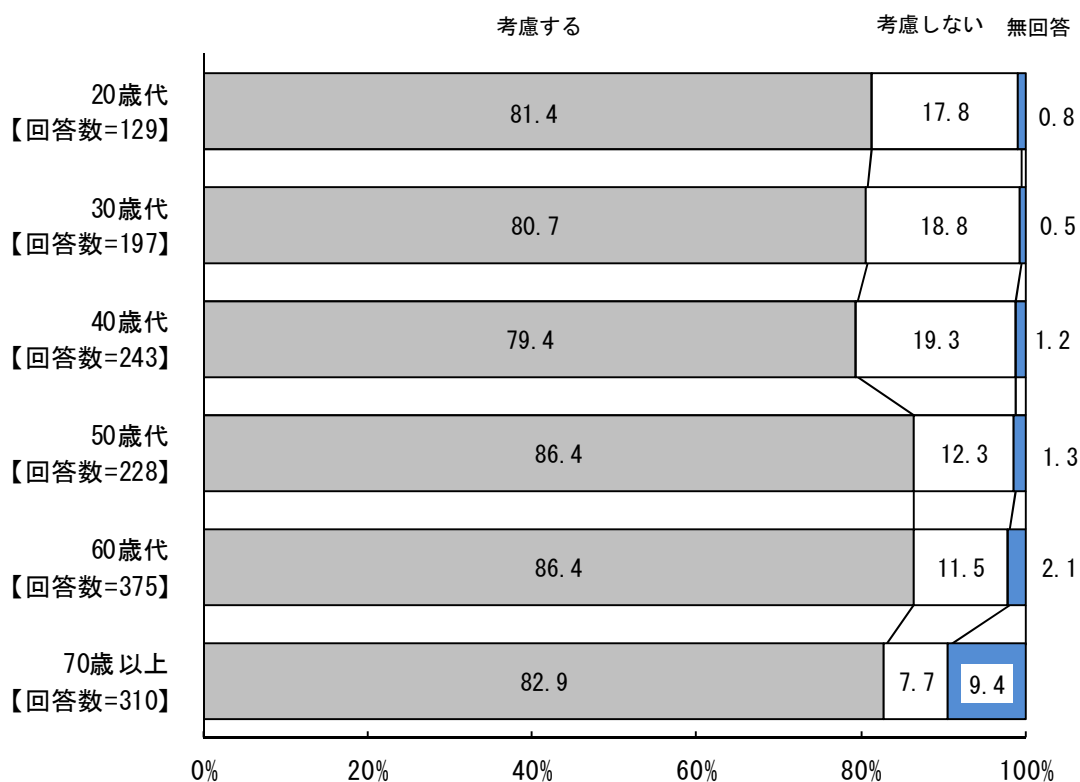
図 5-9 住居決定時の地域が災害等に強いのかどうかの考慮有無



【回答数=1,487】

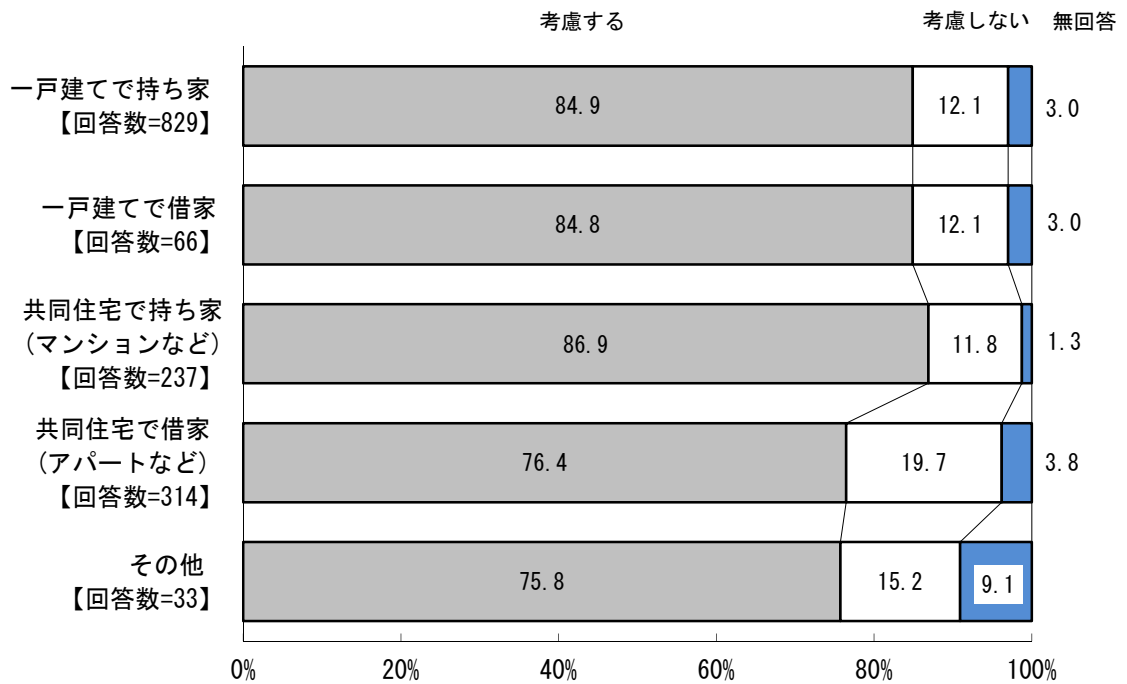
住居決定時の地域が災害等に強いのかどうかの考慮有無をたずねた。「考慮する」が83.3%、「考慮しない」が13.7%となっており、前者は後者の約6.1倍となっている。(図 5-9)

図 5-10 年代別 住居決定時の地域が災害等に強いのかどうかの考慮有無



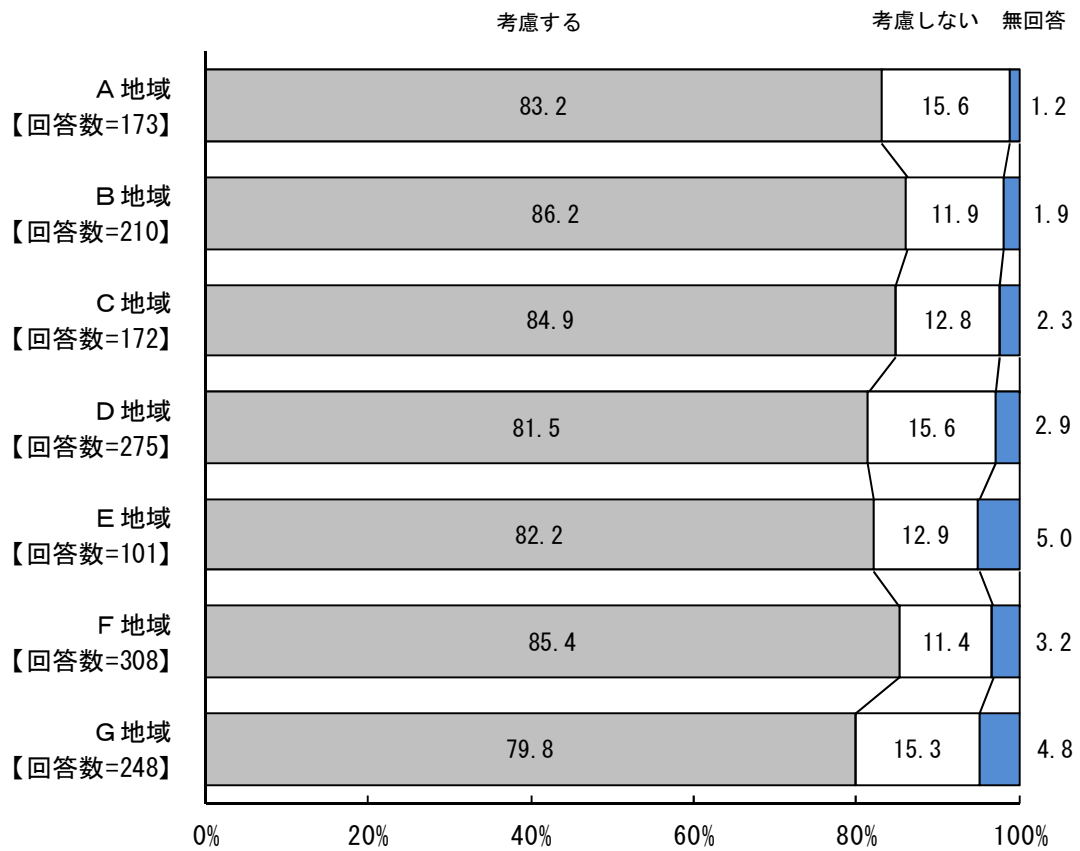
年代別にみると、『50歳代』『60歳代』で「考慮する」が同率で86.4%と最も高くなっている。一方、『40歳代』では「考慮しない」が19.3%で最も高く、全体（13.7%）に比べ5.6ポイント上回っている。（図 5-10）

図 5-11 住宅状況別 住居決定時の地域が災害等に強いのかどうかの考慮有無



住宅状況別にみると、いずれも全体と同様の傾向となっているが、『共同住宅で持ち家(マンションなど)』で「考慮する」が 86.9%と他の住宅状況に比べ最も高くなっている。一方、『共同住宅で借家(アパートなど)』では「考慮しない」が 19.7%と最も高くなっている。(図 5-11)

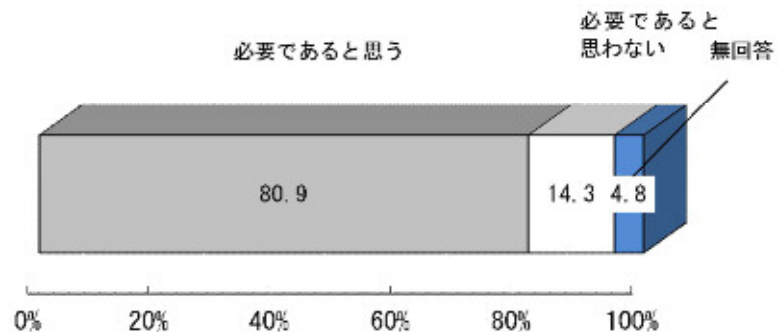
図 5-12 地域別 住居決定時の地域が災害等に強いのかどうかの考慮



地域別にみると、『B地域』で「考慮する」が86.2%と最も高く、次いで『F地域』が85.4%、『C地域』が84.9%と続いている。(図 5-12)

問 30. 大規模災害に備えるため、今お住まいの地域の不燃化を進めることは必要であると思いますか？（〇は1つだけ）

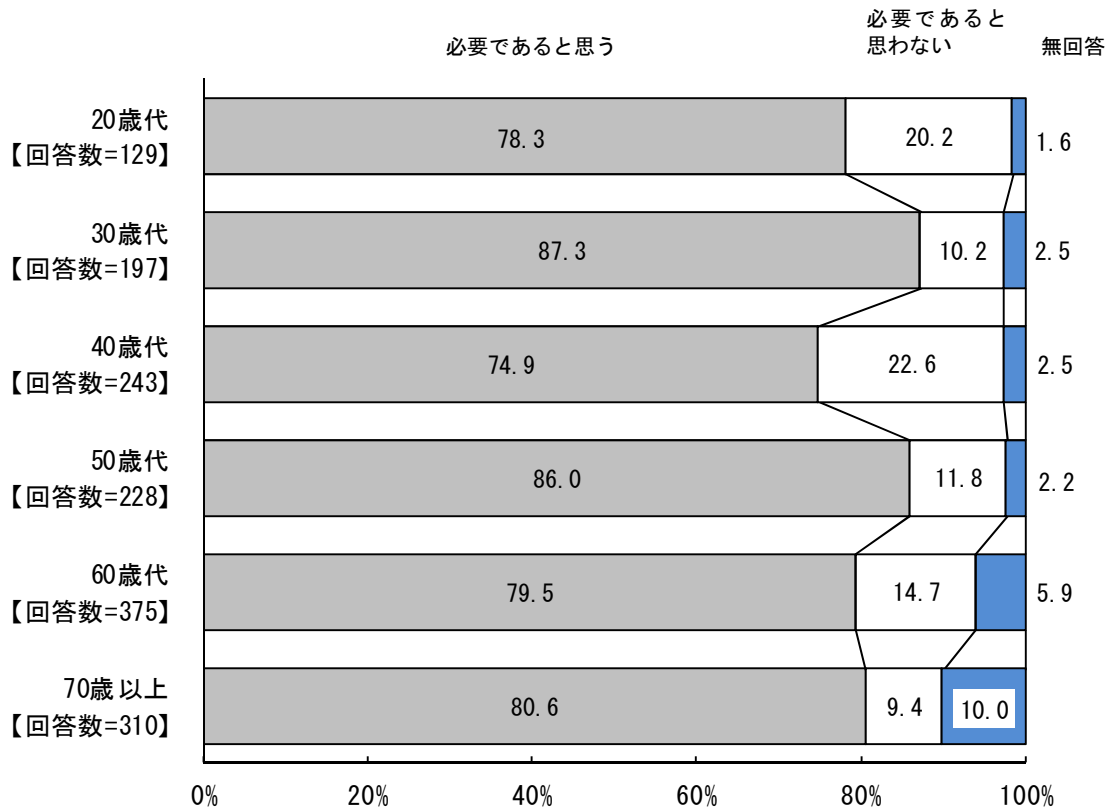
図 5-13 居住地域の不燃化推進の必要性



【回答数=1,487】

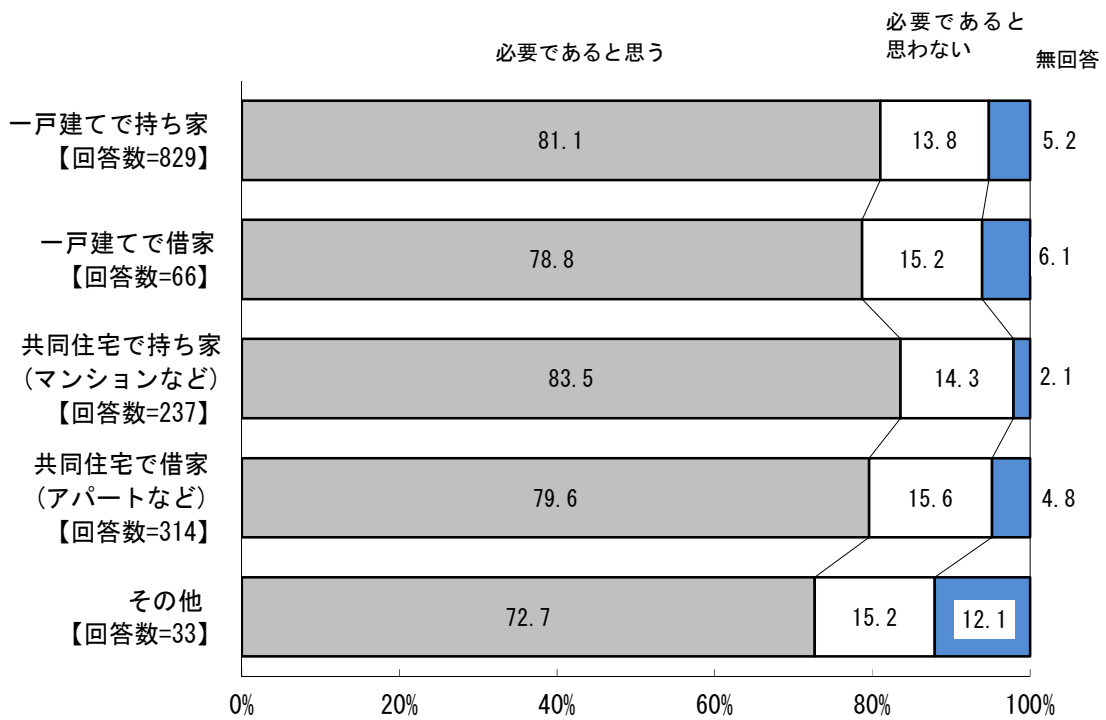
居住地域の不燃化推進の必要性をたずねた。「必要であると思う」が 80.9%、「必要であると思わない」が 14.3%で、前者が後者の約 5.7 倍となっている。（図 5-13）

図 5-14 年代別 居住地域の不燃化推進の必要性



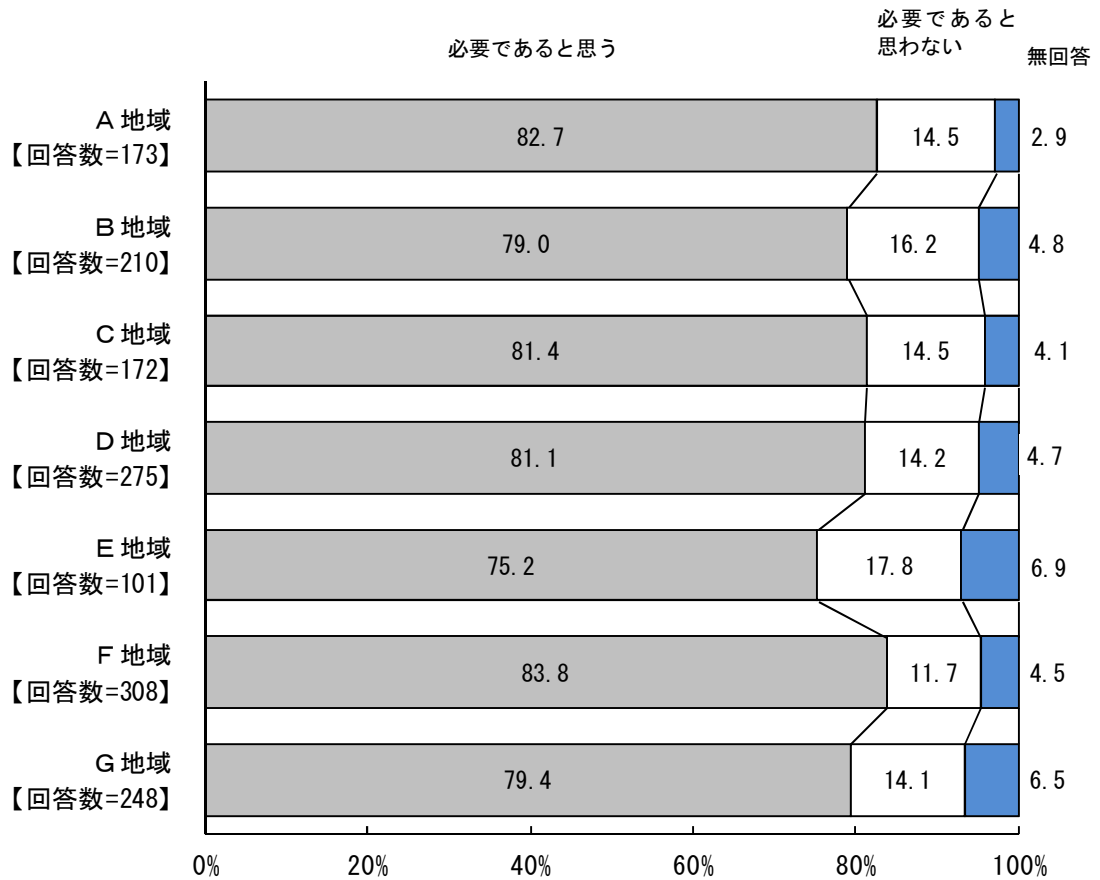
年代別にみると、いずれも「必要であると思う」が7割半を超えており、『30歳代』で87.3%と最も高くなっている。一方、『40歳代』では「必要であると思わない」が他の年代に比べ22.6%と最も高くなっている。(図 5-14)

図 5-15 住宅状況別 居住地域の不燃化推進の必要性



住宅状況別にみると、『共同住宅で持ち家(マンションなど)』で「必要であると思う」が 83.5%と他の住宅状況に比べ最も高く、次いで『一戸建てで持ち家』で 81.1%、『共同住宅で借家(アパートなど)』で 79.6%と続いている。一方、『共同住宅で借家(アパートなど)』では「必要であると思わない」が 15.6%と他の住宅状況に比べ最も高くなっている。(図 5-15)

図 5-16 地域別 居住地域の不燃化推進の必要性

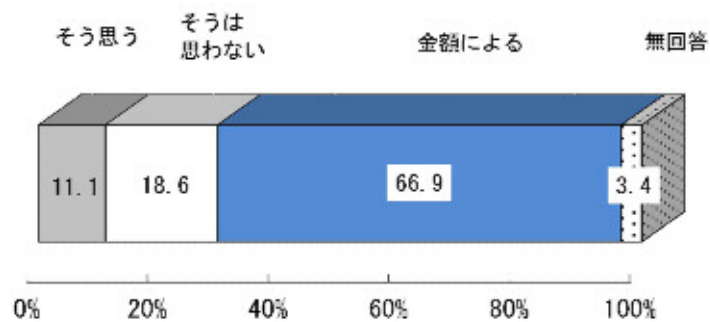


地域別にみると、いずれの地域も「必要であると思う」は7割半を超えており、なかでも『F地域』は83.8%と他の地域に比べ最も高くなっている。一方、『E地域』では「必要であると思わない」が17.8%と最も高く、全体（14.3%）に比べ3.5ポイント上回っている。（図 5-16）



問 31. 大規模災害に備えるため、お住まいの防火性能を上げることができるなら、費用がある程度かかってもかまわないと思いますか？（〇は1つだけ）

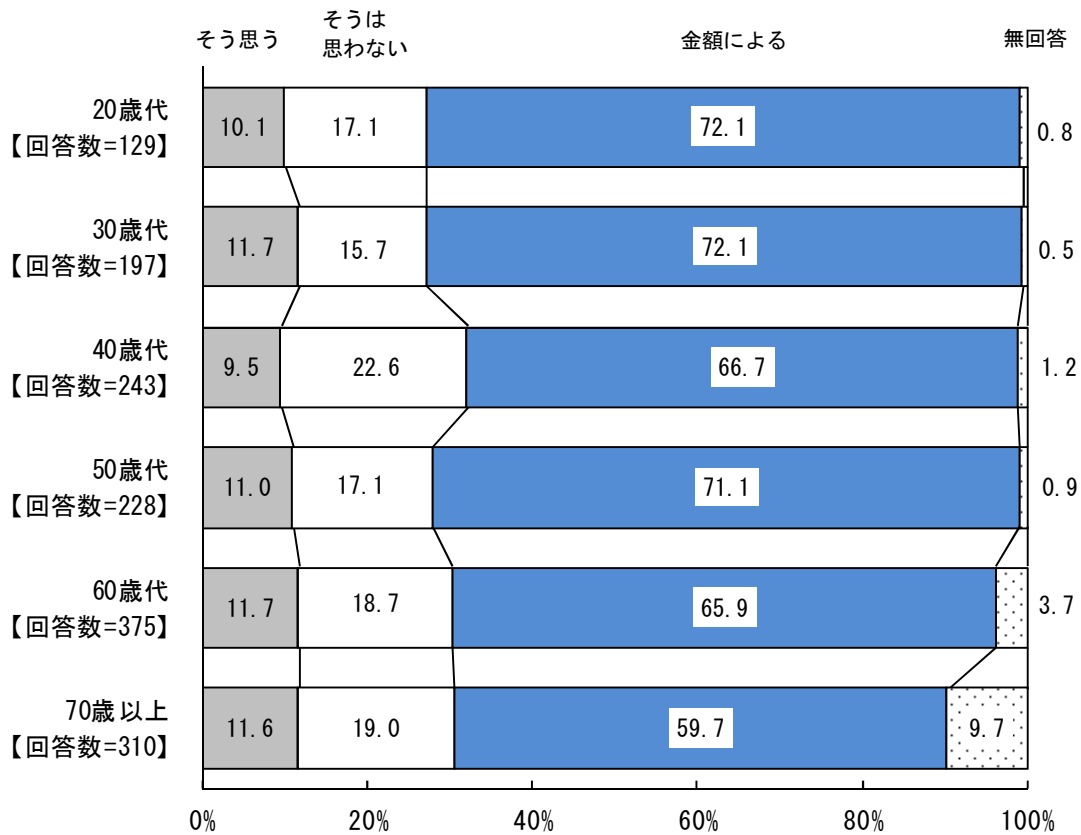
図 5-17 自宅の防火性能向上の費用の負担意識



【回答数=1,487】

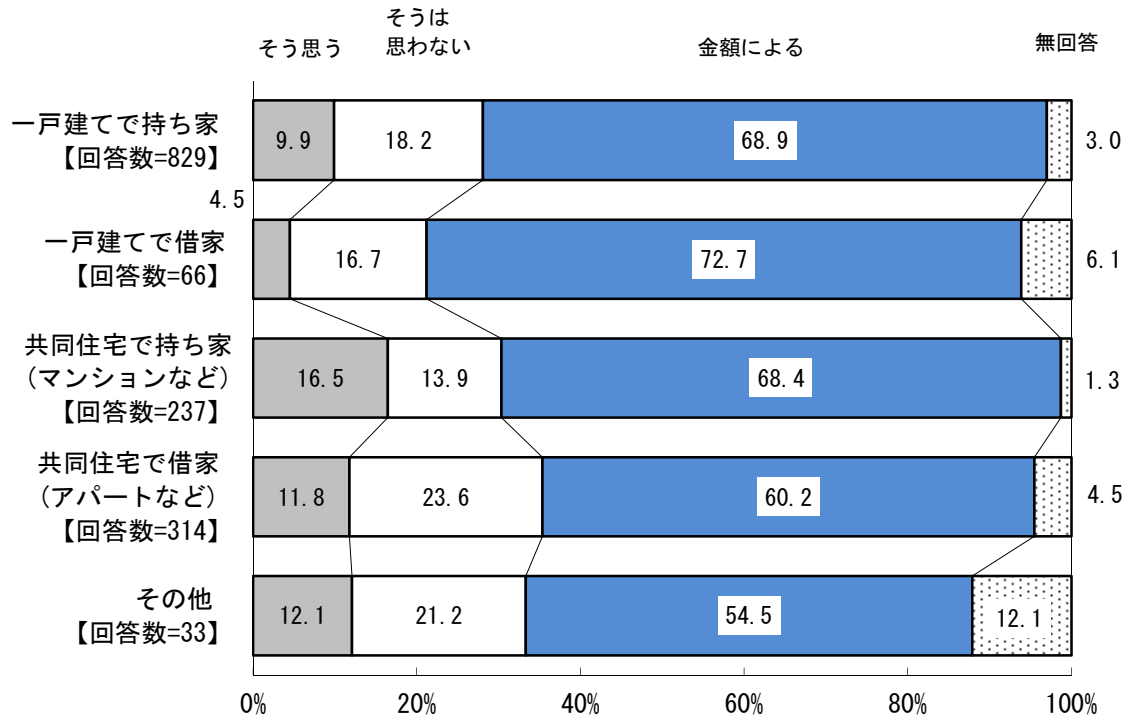
自宅の防災性能向上の費用の負担意識をたずねた。「金額による」が66.9%、次いで「そうは思わない」が18.6%、「そう思う」が11.1%となっている。(図 5-17)

図 5-18 年代別 自宅の防火性能向上の費用の負担意識



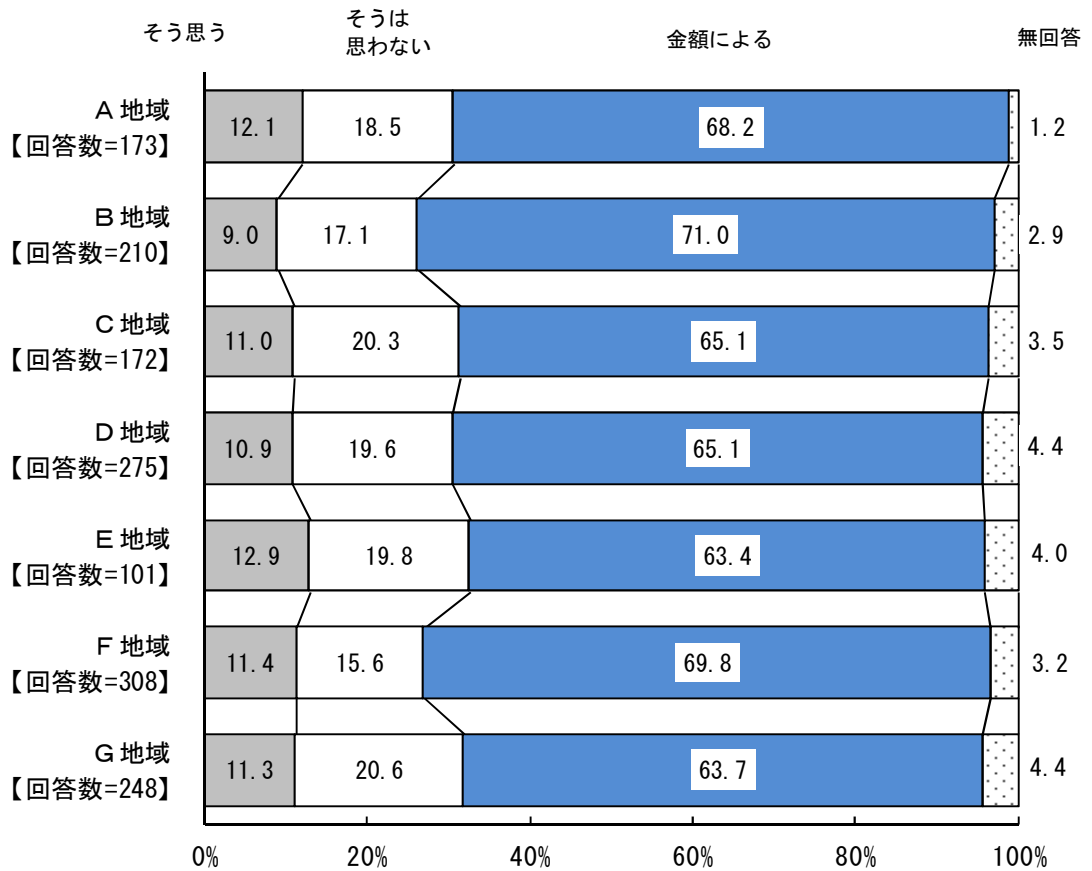
年代別にみると、『20歳代』『30歳代』で「金額による」が同率で72.1%と最も高くなっている。また、『30歳代』『60歳代』で「そう思う」が同率で11.7%と最も高く、全体(11.1%)と比べ0.6ポイント上回っている。一方、『40歳代』では「そうは思わない」が22.6%と他の年代に比べ最も高くなっている。(図 5-18)

図 5-19 住宅状況別 自宅の防火性能向上の費用の負担意識



住宅状況にみると、『共同住宅で持ち家 (マンションなど)』で「そう思う」が 16.5% と他の住宅状況に比べ最も高くなっている。また、『一戸建てで借家』で「金額による」が 72.7% と 7 割強となっている。(図 5-19)

図 5-20 地域別 自宅の防火性能向上の費用の負担意識



地域別にみると、『E地域』で「そう思う」が12.9%と他の地域に比べ最も高く、全体(11.1%)と比べ1.8ポイント上回っている。また、いずれの地域も「金額による」が6割強を超えており、なかでも『B地域』で71.0%と7割強となっている。(図5-20)